

## 1 圃地の発生状況

- ・秋型病斑が確認された圃地数は12圃地で、産地の大半の圃地で黒星病が確認されました(図1)。
- ・秋にはあまり見かけない春型病斑も、今年は9圃地で確認されました(図1)。

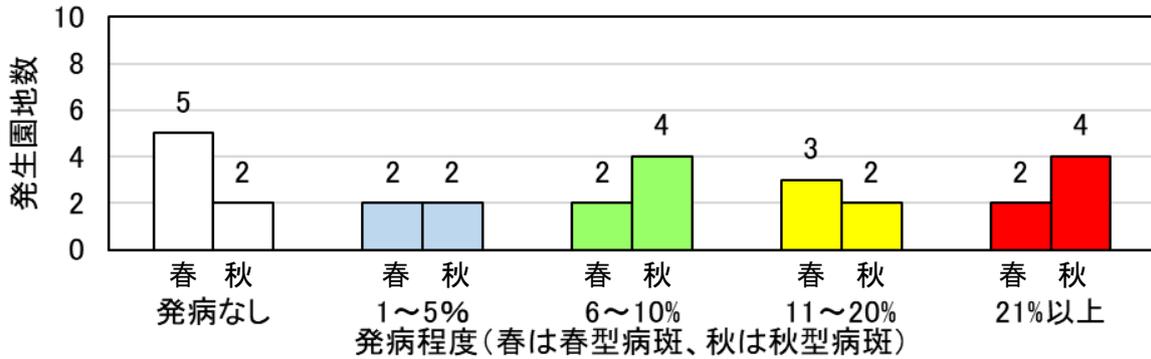


図1 黒星病の発生状況 (今回調査10月11日)

- ・秋型病斑と春型病斑がともに中発生(11%)以上の圃地では、黒星病の密度が高いたくだけでなく、春型病斑からの胞子飛散が長期化し、黒星病の密度が下がりにくいと考えられます(図2)。

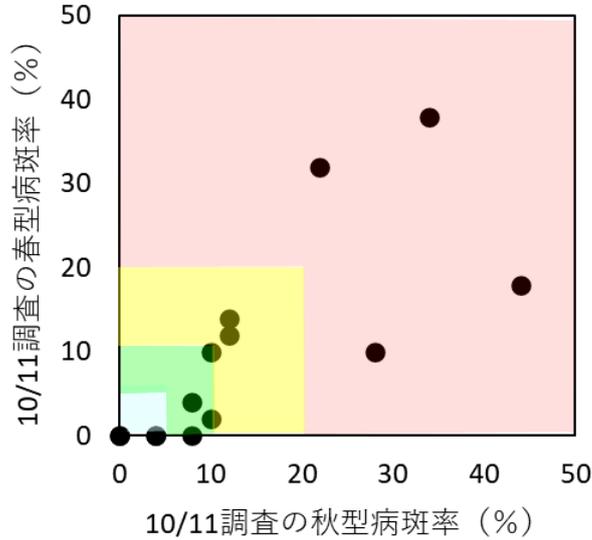


図2 黒星病の発生状況 (今回調査10月11日)

## 2 R元年以降の秋型病斑率

- ・R1年以降では、多発したR3年に次いで秋型病斑率が高くなりました(図3)。

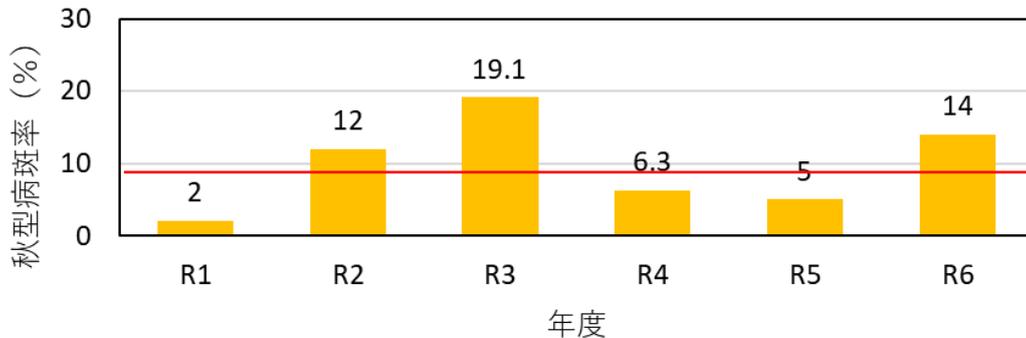


図3 R元年以降の秋型病斑率 (赤線はR元~R5の平均8.9%)

**今年の秋は、秋季防除や落葉処理を確実に実施し、来春の感染源を減らしましょう**